

鳥取・島根両県知事会議 概要

日 時：平成 22 年 4 月 22 日（木）午後 4 時 30 分～5 時
場 所：米子コンベンションセンター 第一応接室
出席者：島根県知事 溝口善兵衛、鳥取県知事 平井伸治

1 山陰の魅力向上

【平井知事】

中海会議を開催することができ、未来志向で鳥取島根両県にまたがる中海について国や市町村も交えて協議の場が整った。ますますこれから連携が深まっていくと思う。

さらに先ほどは JR のデスティネーションキャンペーンが滞りなく、決定通知がくださった。平成 24 年の秋のシーズンに両県相まって全国からの誘客を行う。いろんなテーマがあると思うが、是非この場でいろんな忌憚のない意見交換をさせてもらえればと思う。

まずは山陰の魅力向上について。両県職員で「ロハス」をテーマに一緒になって冊子の発行を迎えた。

【溝口知事】

鳥取島根の協力で、若手職員の意見交換の場を作ろうということで、皆さんと一緒に考えて、そこからこれ（冊子）が生まれた。豊かな自然、本当にのんびりするような場所、ロハスの核心みたいなもの、そういうものがたくさん載っている。それをこういう本のかたちでよくまとめてくれたので、こういうものは活用していきたい。

また、1 年前から山陰文化観光圏として、両県またがって 2 泊できるような観光の開発もしている。この勢いをさらに我々で盛り上げるように協力していくことが課題。

【平井知事】

今まで遠かったと思われていた山陰が、その意味でいろんなことが変わってきたといえる。例えば鳥取側では 3 月 28 日に山陰自動車道がほぼ開通した。さらに西の方に行けば、尾道松江の道路が進捗した。遠かった山陰が近くなってきている。本当に今いい機会だと思う。JR のデスティネーションキャンペーンだとか、そういうもので、おもしろくなっていくのではないかと思う。

できれば平成 24 年くらいをターゲットにして、今までは両県でいろんなキャンペーンをそれぞれでやってきたが、ある程度合体してやっていければおもしろいかなと思った。デスティネーションキャンペーンのテーマについて、溝口知事のご提案でなるほどと思ったのが、古事記の 1300 年が平成 24 年にやってくるということ。これは日本の国開きの最初のところにかかわるものであり、神話という、詩的な、想像力をかき立てる素材である。しかも山陰にはその痕跡が残っている。そんなところをたどって歩く旅の提案なんかもおもしろいかもかもしれない。

【溝口知事】

それが一つの日本の変化でもある。というのは、自然に親しもうという人と同時に、古き良き時代を探ってみようという、あるいは古代世界に対する関心も増えているような感じがする。それは両県またがって存在しており、共通のテーマにしてやっていくといい。古事記 1300 年が平成 24 年にありそれに向けて我々も色々準備しているが、鳥取も大国主命が行脚するわけで、色んな足跡が残っている。

鳥取県の方での、漫画をテーマにした今のゲゲゲの女房のドラマ化もあるし、島根の方も、園山俊二さんなどは、昔から古い世界なんかも書いている。「鷹の爪」という若い漫画家がアニメを自分で作って映画にもなっている。そこら辺りでも共通して一緒にやれるのではないか。

【平井知事】

ギャートルズなんかも子供の頃楽しみに読んだ覚えがある。みんなが知っているキャラクター。国際漫画サミットが平成 24 年にもあり、こうしたことでも両県でまたがって展開できたらと思う。おいしいものもいっぱいある。宍道湖のシジミだとか、鳥取県も実は東郷湖でシジミがとれる。

そういう食の魅力というのもチャームポイントになると思う。

それから、我々は 8 月に 2 日、3 日で世界ジオパークネットワークからの委員会の調査を受けることになっている。うまくいけば世界登録ができる。石見銀山と併せて西側と東側と、魅力が繋がっていけ

ば山陰を縦断して歩こうという客が増えてくると思う。

【溝口知事】

隠岐ジオパークもある。また、漫画に関連しても水木先生は境港で、奥様は安来。そういうところでも縁がある。共通のテーマをつなげて一緒にやっていくといい。

2 高速道路の整備促進

次に、高速道路の整備や交通関係についてはこの年末に向けてが非常に重要になっていると思う。小さくなったパイの中で、島根県や鳥取県のような交通の遅れたところの整備をどうやって進めていくのか、という国の方針がきちんとできたわけではないと思う。我々の地域と同じような事情を抱えた県とよく意見交換をしながら強力に政府に対して政策提言をしていくことが必要。

【溝口知事】

高速道路については、平井知事が提唱されて9県知事が高速道路のミッシングリンクをなくそうと訴えてきた。政府の方も、そういう問題があるのかという認識がかなり高まったと思う。その関連で、全国知事会でも高速道路というのは地方が充実するため、産業振興をおこすために必要だという訴えを国にしていこうという、社会資本プロジェクトチームもできてそういう方向になってきている。

高速道路の整備で言うと、島根の中で遅れるのは東西につながる山陰高速道、これは徐々に西に向かって伸びてきているが、今のままでは相当時間がかかるので早くミッシングリンクをなくすということで、整備が早く進むように国に訴えたいと思う。

【平井知事】

この地域の実情というのはまだまだ理解されなければいけないと思う。観光にしても産業振興にしても、どうやって行くんだと言われたら、立つ瀬がない。だから、是非ともミッシングリンクをつなげられるように強力な訴えかけをしていきたいと思う。どうやって優先順位をつけていくのかとか、整備の手法だとか、その辺を我々の方で政策提言をしていかなければいけないと思っている。

3 地方航空路等の維持活用

【平井知事】

地方空港はいかにも無駄なようなことを言われる。着陸の収入で全部まかなわなければいけないような、これは誤解だと思う。例えば道路だったら、道路を通してその通行料だけで全部やるわけではない。基本的には社会資本的な公共資本であるから、単に着陸料云々だけで辻褄を合わせようとするそういう風潮には疑問があるところ。今ここに来て、JALの経営危機に端を発して全日空も含めて地方航空路線に検証が下されつつある。私たち地方側としては是非とも県民の足、地域の足をしっかりと政策的に維持していくように、ここは足並みそろえて利用促進をしたり、実際にそうした路線の存続に向けて要望していく。

【溝口知事】

交通体系としては、高速道、鉄道、船飛行機があるが、空路は長距離を短時間で飛ぶ、運搬する特別な意味合いを持っている。経営は民間会社だが、公共的な側面を有している。だから県が維持するために公的な資金を投入することが起こっている。また、県だけでなく全国的なネットワーク、全国がある程度足並みをそろえて発展をしていくという観点から、私はやはり国の役割があると思う。だから国も空港をつくる時には補助金を出したり色んなことをする。他方で民間会社が運営しているということで収支をある程度確保しなければいけないということがあるが、やはり公共的な要素を考えて貰わないといけない。今島根の方で特に問題になっているのは、萩石見空港。あそこは高速道路も新幹線も遠い。東京とか大阪に行こうと思うと、やはり空路。地域が自立して産業を呼び、観光客を呼ぶために必要な公共運輸ルート。問題になっているのが大阪便。是非継続してほしい。精力的に交渉しないといけないという状況で、これなども知事会の社会資本PTなどでもやるべき。こういう問題は航空会社の単に経営だけの問題ではなくて、地域の産業振興、観光振興の観点からも考える必要があると訴えることが大事。

【平井知事】

確かに高速道路の無料化、そういうことだけだと交通体系全体としては偏りがあると思う。やはり高速

交通の究極である飛行機というものの重要性を国全体できちんと位置づけなければいけないと思う。前に米子ソウル便が運行危機にあったときに、同じことを溝口知事に了解をいただいて訴えた。もうワンチャンスくれと、半年でもまずはやってみて、その間は我々も運行支援について考えるからと。そうしたところ、今では搭乗率は回復し、全体としては搭乗客数自体は増えている。機材が若干大型化しているため搭乗率としては伸び悩みというところもあるが、回復してきている。山陰全体で応援をしながらもっともっとこういう客層があるはずだというターゲットをあげて、我々も努力をするし、航空会社にもそこを応援して貰う、そういうスキームを訴えかけていく必要があると思う。

そのほか、離島航路のこともある。それから海外との航路も重要だと思う。北東アジアゲートウェイとして全国の人に使って貰おうと、これは山陰両県あいまって、浜田、境港、大きな港があるが、このたび DBS クルーズフェリーが動き始めたところ。是非とも連携して荷物だとか観光の利用を増やしていければと思う。

【溝口知事】

大陸との交流はますます重要になってくる。日本海側の港湾の整備は山陰両県の発展にとって大変大事な要素。これについてもそれぞれ重要港湾を抱えている、一緒になって政府に訴えていく必要がある。

【平井知事】

是非よろしくお願ひしたい。その利活用を、大きなパイで進められるように経済界だとか観光だとか、タイアップしてやっていけるよう溝口知事からもご指導いただければと思う。例えばロシアの観光会社は島根県内の業者と組んで観光商品を作っている。こういうのが当たり前のように行われるわけであり、県境で物事を考えるより、一緒になってトータルでやっていく方が発展の契機につながっていくと思う。

4 その他

【平井知事】そのほか、例えば人事交流では、中海に関連して、課長級の職員について実施しており、そういう意味でも、水質改善に向けて両県でタッグを組んでいるということになっている。

そのほかにも防災は大事。消防士、消防団の皆さんの訓練を、松江と米子にあるが、これなんかも高度な訓練施設になるとそれぞれでやるよりも両方で交流しながら運用したらどうかと、そんな現場のご意見もある。防災面や医療面などまだまだ連携できる。

【溝口知事】

色んな面で連携・強力できる、また、しなければいけない分野がある。よく検討していきましょう。両県のお互いのカウンターパートがわかると協力もしやすくなる。そういう面でも、交流の厚みや広がりをもっと増やすように努力をしていきたい。

【平井知事】

積極的に交流をして職員同士一体感が出るようにやっていきましょう。今日発足した中海会議であるが、長年のお互いのいろんな波風を考えると歴史の変わり目のような瞬間だったと思った。一緒の目標として、中海をきれいにしましょうと、是非できればいいなと思う。国だとか県だとか市町村だとか県境があるだとか、そういうことで止めることが一切ないように、一つの中海をみんなできれいにしていく具体策をすぐに部会を作って進めていければと思った。

【溝口知事】

水質の部会、護岸整備の部会、これは早く、できるだけ具体的な対応策を考えるというように。みんな一緒に集まって議論をすればいいんじゃないかと思う。そういうことを期待したい。

【平井知事】

是非よろしくお願ひしたい。